

令和四年度



三宅村立三宅中学校

学校だより

第 164 号

令和 5 年 1 月 10 日

校長 小澤 秋仁

東京都三宅島三宅村伊豆 470

TEL 04994-2-0049

FAX 04994-2-1376

<http://miyake-chu.sakura.ne.jp/>

新 年

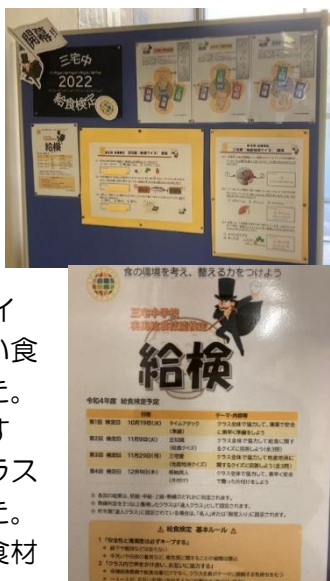
校長 小澤 秋仁

新年あけましておめでとうございます。本年も保護者の皆様、地域の皆様にご協力賜りまして、生徒の成長のために教職員一同、教育活動に邁進する所存でございます。よろしくお願い申し上げます。

今年度は「三宅島観光大使になろう」をテーマに 1 年生は郷土三宅島を知る、2 年生は三宅島の産業を知る、3 年生は三宅島の未来を語ると系統立てて学習しております。3 学期はまとめに入ります。その一部は文化祭にて発表しました。三宅中では 3 年間かけて「未来を語る」力を育てていきます。また、本校は食育にも力を入れておりますが、これにも「三宅島」との関りをもたせて学習する場面を設定しています。

家庭科では三宅島食材を使ったレシピを考案しました。令和 4 年度の三宅村教育研究委員研究発表では、いきいきお魚センターの協力のもと、『三宅島産△ロアジの三枚おろし』にチャレンジしました。

給食では、10 月から 4 回「給食検定」が行われました。迅速な配膳やマナー、給食全般について学ぶ企画です。時に給食クイズが出題されることもあります。第 3 回は地産地消クイズで三宅島と関わりの深い食材について出題されました。決して難問ではないのですが、生徒たちは悩み、クラスのみんで考えていました。まだまだ知らない三宅の食材があるので。



1 月は絶好の食育の機会です。正月料理には様々な意味や願いが込められています。諸説はありますが、背景を知り、考えることも食育の一つです。日本文化の伝承にもつながります。おせち料理の食材、例えば、黒豆は「まめに、元気に働けるように」といった健康や精励を意味し、昆布巻きは、「よろこび」「子生」と縁起の良い字が当てられ、長寿や子孫繁栄の願いが込められています。

毎年 1 月 7 日、五節句の最初である「人日の節句」には、七草がゆを食べることで、植物がもつ生命力を

教育目標

「ふるさとの発展に進んで貢献する生徒の育成」

- 1 目標をもって意欲的に学ぶ生徒
- 2 人間性・社会性をはぐくみ、相手の立場に立って行動する生徒
- 3 心身ともに健康で明るい生徒

取り入れ、無病息災を祈りました。

お正月にはお雑煮を食べます。年神さまにお供えたものを頂くことは、“神のパワーを頂ける”ということから定着したようです。また、おもちと野菜が入っていることで、武家社会の中では「名(菜)を持ち(餅)上げる」という意味として、縁起が良い食べ物として重宝されたそうです。

さて、お正月にはおもちの需要が伸びるとともに、毎年のように「喉につまらせる」というニュースが流れます。咀嚼の大切さを痛感する期間です。咀嚼には食物を細かくするという側面以外にも効用があるようです。消化を助けることや、虫歯や歯周病を防ぐなどはよく言われることですが、最近では、噛むことで分泌される唾液に含まれる酵素「ペルオキシダーゼ」に、食べ物に含まれる発がん性物質の毒性を弱め、活性酸素を除去する働きがあるということが分かってきました。さらに、噛むことは脳を活性化し、認知力や記憶力を高め、おまけに集中を高めるといいますから、中学生には聞き捨てならない情報です。

教育にも咀嚼が必要です。各教育活動を通して、三宅中生が未来を語る力をつけることができるよう、私たち教員は引き続き語っていきます。伝わらない時は噛み砕いて説きます。生徒たちは、その言葉はもとより、体験することを噛みしめる力を育み、実践に変える一年にしてほしいと願います。

11 日は鏡開きです。鏡開きも供えたおもちに宿った神を送り出し、無病息災を願います。食を大切にしてきた古からの伝承です。かつて、実家では乾いたお供えもちを木づちで砕き、揚げもちにして食べていました。おそらくは「もち上げる」と縁起を担ぎ、それを代々受け継いできたのであろう先祖に想いを馳せ、水分の出入りを阻むポリエチレンに包装されたお供え餅を見つめました。

1 月の生活目標

礼儀正しく行動しよう

1 月の保健目標

感染症を予防しよう

音楽鑑賞教室(12月5日)

東京都交響樂團による演奏を小中学生全員で鑑賞しました。クラシックからディズニー音楽、日本民謡まで多彩な曲を生演奏で聴く貴重な体験をすることができました。



生徒の感想から

◆テンポが速い曲を楽しそうに弾いていたことと、低い音からだんだんと高い音になっていくところが印象に残りました。音を伸ばすというより、ちゃんと音を切っていることで、ポツポツ降っている雨をより想像しやすかったです。(1年 T.M)

◆プログラムに書かれている曲の特徴と実際の演奏の音とを聴き比べていると、そこから次の音の予想や考えが生まれてきて、とても楽しいものでした。重々しい緊迫感や深みのある曲はチェロなどの大きい楽器が、鳥の鳴き声や神秘的な音はヴァイオリンなどの高音の楽器が活躍するなど曲の特徴に合わせて楽器が使われていることに気づけてよかったです。また聴きたくなくなるような演奏をありがとうございました。(2年 I.R)

◆ピアノのソロの音色がきれいだった。ソロなのに他の楽器がいるかのように聞こえて不思議だった。始めから終わりにいくにつれて強弱があつてすごく神秘的で演奏に引き込まれた。その時のリズムや強弱、速さによって想像できる情景、雰囲気の変化してとても印象に残った。(3年 S.H)

◆全く知らない曲だったけど、強弱が激しく、リズムが耳に残る曲で聴いていて楽しかった。指揮者がいないのに音がちゃんとそろっていてかっこよかったし、さすがプロだなと思った。普段プロの演奏を生で聴ける機会がありませんので、今回聴くことができてよかった。(3年 S.H)

人権推進協議会講演会(12月9日)

1992年バルセロナオリンピックで、バレーボールアメリカ代表選手として銅メダルを獲得したヨーコゼッターランドさん(日本女子体育大学准教授)に講演をしていただきました。小学校1年生のときにアメリカから日本に移住、東京の公立小学校に入学したゼッターランドさんは、日本語もまだ話すことができず、国籍や容姿などの違いから差別的な対応をされることがあり、つらい思いをしました。そんな彼女を支えたのは「一人一人が違って当たり前」というお母さんの広い視野に立った励ましとバレーボールとの出会いだったそうです。「人との向き合い方」について深く考えさせる温かい講演会でした。ありがとうございました。



小中高合同マラソン大会(12月17日)

三宅高等学校グランド周辺と村道を使ったコースで、小学校低学年、中学年、高学年、中高生 4.5 km、中高生 6.0 km、中高生 7.5 kmの6つのレースを行いました。熱戦が繰り広げられた競技はもちろん、3つの校種がお互いを全力で応援し合う姿が、「島の宝」たちをさらに輝かせていました。保護者・地域の皆様からの温かい声援が、子供たちの背中を力強く押してくださいました。寒い中のご来場、応援をありがとうございました。



令和5年1月 主な予定

- | | | |
|-------------------------------|-------------------|----------|
| 10日(火) | 始業式 | 11:20 下校 |
| 12日(木) | 百人一首大会 | 中央委員会 |
| 13日(金) | 漢字検定 | P.T.A役員会 |
| 14日(土) | 学校公開 | 11:55 下校 |
| | 新入生保護者説明会 | |
| 16日(月) | 専門委員会 | |
| 18日(水) | 1年T.G.G始(昼船発) | |
| 21日(土) | T.G.G終(朝船着) | |
| 23日(月) | 生徒朝礼 避難訓練 | |
| 24日(火) | 縦割り道徳 心理士巡回 | |
| | 学校保健委員会 | |
| 25日(水) | ⑥カット | 14:35 下校 |
| 26日(木) | 三宅村教育研究発表会 | |
| | ⑥カット | 14:35 下校 |
| 30日(月) | 2年みなかみ体験学習始 | |
| | (2/4 土まで) | |
| 2/1日(水) | 村民の日(学校休業日) | |
| 6日(月) | 授業日(年間行事予定表から変更) | |
| | ※2/5は綱引き大会中止のため休日 | |
| | ※スクールカウンセラー来校予定日 | |
| 12(木)・13(金)・16(月)・25(水)・26(木) | | |

